

CS 立ち上げを目指して！ CS通信第4号（教頭研修会）



牧之原市教育会教頭研修会 7月10日（金） 萩間小学校にて

研修会の目的：自校のCSを立ち上げるために、コミュニティ・スクールについて研修を深める。

研修内容 ①牧之原市教育委員会の方針

- ②勝間田小（モデル校）の取組 ・どのように立ち上げてきたか
- ③萩間小学校の活動 ・組織と活動内容 ・CSディレクターの役割や教員との関わり
- ④グループワーク ・各校の進捗状況
・CS立ち上げや活動充実に向けての教頭の役割



<出席者>各校教頭、担当校長、会場校校長、CSディレクター(モデル校3名)、社会教育委員、教育文化部長、教育専門監(教育総務課長)、社会教育課長、社会教育係長、主席指導主事、野村教諭(教職大学院)、教育コーディネーター

勝間田小の取組



・中嶋教頭先生から、モデル校として手を挙げるまでのいきさつ、立ち上げるにあたって各研修会で学んだこと、CSディレクター選任の苦勞、CSを交えた職員室経営、子どもたちにとってのCSディレクター、学校運営協議会立ち上げ、勝間田小CS通信と、これまでの取組を30分という中で教頭先生方にお話しいただきました。真剣に聞き入る教頭先生方。対照的に、笑顔いっぱいにお話しする中嶋先生の姿が印象的なひとときでした。

中嶋教頭先生の発表の最後に、CSディレクター鈴木さんから、直接お話を伺いました。引き受けた当時、学校の敷居が高かったことから始まり、子どもたちのために、先生方と一緒に今CSディレクターの仕事をしていることを力強く、そして楽しそうに話していただきました。(お饅頭ありがとうございました)



萩間小の活動

・萩間小学校の坪池CSディレクターからは、CSディレクターとしてどんなことをしているのか。萩間小は地域の方々からどんな活動をしていただいているのかを話していただきました。平成15年ごろから、地域のボランティア団体が学校の授業支援をしていたり、CSの指定を平成22年に受けていたりという実績が活かされた、更には、坪池CSディレクター自身が学校支援本部でコーディネーターを経験しているということを生かし充実した活動が紹介されました。特に、私は、児童の通学路の草刈りが、学校運営協議会からの投げかけで、萩間地区みんなで取り組むようになったところには驚きました。区全体が動いた！！



・コミュニティルーム「ちょっくら」を出席者で見学しました。萩小運営協議会のメンバーも、皆さんの見学の対応してくれました。気軽に足を運べる部屋になってきていることが伝わってきました。詳しくは参加した教頭先生から様子を聞いて下さい。是非一度足を運んでみてください。参考になるはずですよ。



グループワーク

・自分の学校の立ち上げにむけ、どの学校の教頭先生方も勝間田小学校、萩間小学校の発表を参考に、グループで質問したり、提案したりと積極的なグループワークとなりました。グループワークでも、CSディレクターさんたちが楽しそうに、やりがいをもって語っていました。そこに、コミュニティ・スクールを立ち上げる価値があるのではないのでしょうか。立ち上げにあたっては、最初に、CSディレクターさんの候補を見つけることだと思います。きっと、教頭先生方は、今日の発表を聞きながら「立ち上げたいけれど、このような方々をどうして見つけたらいいのか」と悩むかもしれません。「このようなCSディレクターは、見つからない」とあきらめ気味になっては元も子もありませんが…。大切なことは、教師と一緒に、**子どもたちが好きということと、人と関わるのが好き**ということじゃないかなと私は思います。すぐに成果を求めるのではなく、「今よりも地域の人に学校が見え、今よりも地域の方々が学校に関わり、何年か先に地域の方々と一緒に子どもたちを育てているという気持ちになる。」という思いで先生方も、学校運営協議会委員の方も進めるという姿勢でよいのではないのでしょうか。地域で育つ子どもです。この義務教育の9年間で、地域愛、郷土愛を学校だけで育むことは無理なことです。子どもたちが大人になった時、「この地域を好きだ」「この地域で育ててもらった」と思うようになるには、やっぱり、地域の方々とともに創る学校づくりが必要です。



<裏面：当日の感想一覧>



牧之原市教育会教頭部第1回アンケートまとめ

1 モデル校の取組への感想

【教頭】

- ・ 萩間小が長い間行ってきた地域連携活動が、CSという視点で整理されていて素晴らしいです。やっぱり萩間小としてのよさがあるうらやましいです。
- ・ 勝間田小、萩間小共にとても楽しそうに運営しているのが何より素敵でした。いいCSディレクターと出会うことやコンセプトを共有し合うことなどの重要性を実感すると共に、自校ではどうかと考えると、少し気持ちが下向きになりつつもありますが、やはりあのように効果を示されると価値あるものだなと思います。私自身は、前任校が萩間小で、実際に「ちょっくら」の皆さんと連携をとり、たくさん助けてもらい様々な教育活動を進めてきた経験があります。萩間小は、長い伝統や学校文化を地域のボランティアさんとの協力で築いていました。そういう基盤が本校にもできるというなとつくづく思うと共に、それを萩間小で体感できたことはとても幸運だったと感じています。今の学校でも学んだことを生かしてはじめての一步を出さなければいけないと思いました。
- ・ モデル校の一2つの小学校の実践発表を聞かせていただきましたが、圧倒されました。中学校なので小学校と同じというふうにはいかないと思いますが、無理をせず進めていきたいと思っています。今回のテーマとしては、まず、学校のことを知ってもらうことを主に進めていきたいと考えています。
- ・ どちらの学校もCSディレクターさんの人選が適格であると思いました。地域で活躍されている方、地域をよく知っている方を学校に迎えて動き出すとよい方向に動いていくということを感じました。
- ・ 勝間田小さん、萩間小さんの取組が一步も二歩も進んでいることにまず驚きました。年度の途中から準備を進め、ここまでくるためには、相当の努力があったんだと思います。小中の違いはありますが、とても参考になりました。また、CSディレクターさんがとても生き生きとお話しされている姿がすべてだと思います。榛原中もがんばりたいと思います。
- ・ 大変参考になる発表でした。3月まで勤務していたわけですが、短期間で更に充実した取組になっていることに驚きました。両校とも長い時間をかけ、じっくり育ててきた人材だと思いました。本校でもフットワークで地域との関係づくりをしていきたいと思っています。
- ・ 両校ともそれぞれの実情にあったスタイルでコミュニティ・スクールが実践され、枠にはめ込まずで取り組むものでないと、ある意味、気が楽になった。しかし、そこに至るまでは当然人選や組織として形成していく大変な苦勞があったと察する。

職員は、数年で入れ替わりが生じてしまうが、できあがったコミュニティ・スクールの組織、CSディレクターなどは、変わらずに学校に存続していくので、立ち上げ当初における押さえを明確にする必要性を感じた。と同時に、やはり頼もしい存在であると感じた。グループ協議に、様々な立場の方がいたため、充実したグループ協議になった。
- ・ 今後、立ち上げる本校にとって、とてつもなくありがたい示唆をいただきました。今、現在先生たちが行っている地域教育活動を地域組織によって支えていただけるありがたい制度だということがよくわかりました。

- 学校や地域の特性にあわせて、それぞれのスタイルで取り組んでいるところは、とても参考になった。また、CSディレクターの選考がとても大きなウエートを占めているので、選考に時間をかけていきたいと思った。

- 勝間田小の鈴木CSディレクターの「学校の敷居が高かった」というお話に、これまでの取組を考えさせられた。ふるさとの森の活動や、鈴木さんの娘さんが教員ということもあって、比較的学校になじみがあると思っていたが、教員以外の地域の方や保護者にとって、まだまだ学校は「来づらい」ところになっていないだろうかと反省した。中嶋教頭の「まず、鈴木CSDを学校に、職員の中に取り込む、来やすくする」様々な方策が、今後、CSディレクターを選定して、CSを進めていくにあたって、重要なことではないかと感じた。

その点、萩間小の坪池CSディレクターは、学校職員であったことや、それまでも学校に多く関わってきたこともあり、スムーズに活動が進められていると感じた。地域と学校が密接で、支援するシステムが確立されている学校と、そのようなものがあまり確立されていない学校では、CS立ち上げの労力がかなり違ってくる。本校も、今年度から牧之原小と合同の学校評議員会を行い、CS立ち上げに向けてそこを母体としていく計画がある。ただ、CSディレクターの人選は、持続可能な組織にしていきたいという願いもあり、なかなか困難である。

- 勝間田小のすばらしい実践に心が温まりました。CSディレクターさんのご活躍だけでなく、ご苦労や戸惑いまでうかがうことができ、大変参考になりました。通信や実践の数々、本当に学ばせていただきありがとうございます。CSディレクターの選考も紆余曲折だったとうかがい、勇気を与えていただきました。

萩間小の坪池さんのお話がわかりやすかったです。そしてなんと言っても萩間小のちよっくらの皆さんが、生き生きと楽しそうに活動していらっしゃるのには、本当に感動しました。昇降口のコミュニティ・ルームも素敵で、またお伺いしたいと思ってしまうほどでした。

- 他校の取組を聞かせていただいて、本校の足りない部分もわかりました。全校にCSが導入されて、ディレクターの仲間がそろそろことを楽しみにしています。(CSディレクター)

- CSルームがコミュニティ・スクールの拠点として活用されていることがすばらしいと思いました。勝小でも早く皆さんが集まれる部屋づくりができればと思っています。ぜひ、他校CSディレクターとの交流もしていきたいと思っています。御指導ください。(CSディレクター)

【社会教育委員】

- CSディレクターがすばらしい。次のCSディレクター候補、ボランティアが必要。
- ゼロからの出発ということで大変な苦労もあったことと思いますが、両校とも楽しんで運営されていて本当にすてきだと思います。(見えない苦労はたくさんあることと思いますが)互いの学校の「らしさ」を大切に発展していただければと思います。これから立ち上げる学校への情報提供をぜひ、お願いいたします。

- 人を決める、人を見つける、いかに学校と地域と関わりをもたせるか。まさに、人選の大切さを痛感しました。両校においても最善の方がリーダーになったと思います。地域の方の学校愛、地域愛が強く、自然体で活動されている様子がすばらしいです。

2 今後取り組んでみたいこと等

【教頭】

- ・ 市教委との連携での研修に形を変えて、5・6年目だと思いますが、この方法で今後も進めていけたらよいと思います。
- ・ CSディレクターの選出と決定
- ・ 学校職員にCSについての理解を深めるよう説明、伝達する。
- ・ 末広会だけではない、地域人材活用を増やし、CSについての理解土壌をつくる。（子どもにも、保護者にも、職員にも）
- ・ 学校運営協議会第1回目を開催する。
- ・ CSDと校長・教頭が、たくさん話しをしながら進めていきたい。
- ・ どんな方をディレクターとして組織をつくっていくか、小中で話し合いながらつくっていききたいと思いました。
- ・ 中学校としては、多忙化解消の視点で、職場体験のコーディネーターや専門の知人を持たれている方の招聘をやっていききたいです。
- ・ 人材発掘から信頼関係づくりと弱さのある地域です。まだ、「点」の状態、「線」から「面」にしていききたいと思います。
- ・ 教育効果があり、持続可能（無理のない）なコミュニティ・スクールを立ち上げていききたいと思いました。
- ・ まず、地域を知ること、それから地域支援本部で多くのボランティアをお願いしているので、そのつながりを大切にしていきたい。
- ・ 令和4年度市内全学校スタートという期限が迫られたからでなく、子供にとって有効な教育活動・教育資源でもあり、働き方改革につながる良いチャンスととらえていきたい。そのために、校長とCSディレクターの選任を考え、具体的な組織の立ち上げに向けて取り組んでいきたい。
幸い、坂部小には、様々な方が様々な形で教育活動に協力していただいているので、それぞれを組織として成り立つように形を整えていけばよいのかと考えている。
- ・ まず地域の方が学校に来やすくする、学校に取り込むことを行っていきたい。子供が小学生の時には、関わってくださった方が、中学生になるとかかわりが少なくなる現状がある。小学校在籍の時につながった地域の方とのパイプを、中学校にもつなげることができるような方策を考えていきたい。現在、地域の方とのつながりは環境整備的な内容が多いが、中学校においても学習支援的な内容でもつながりがもてたらと考えている。牧之原小と連携を取りながら、進めていきたい。
- ・ まず、7/17の学校評議委員会兼民生委員と語る会でコミュニティ・スクールについて説明させていただきます。昨年度もそういう機会があったのですが、今度はさらに具体的にかつ楽しく話をさせていただきそうです。（萩小と勝小の実践も紹介させていただきます。）そして、CSディレクターさんを選出していきます。
- ・ 今後、学校と地域との声を幅広く聞き、対応できるよう努めたいと思います。（CSディレクター）